

2022年度
事業報告

自 2022年 4月 1日
至 2023年 3月31日

一般社団法人 保険者機能を推進する会

I 一般社団法人保険者機能を推進する会の概況

1. 設立年月日

2001年5月10日(法人登記 2010年12月22日)

2. 定款に定める目的

保険者機能の原点は、被保険者・被扶養者のために、

- ・ 良質な医療を確保する
- ・ 保険料を効率的に活用する
- ・ 保健事業に代表される健康づくりを推進する

ことにあり、この実施・実現が保険者の使命である。

本会は、保険者自身が集い、参画し、この保険者の使命の実施・実現のため、保険者機能の研究とその具体的方策の実行を目的とする。

3. 定款に定める事業内容

- ① 保険者機能に関わる各種調査・研究等
- ② 組合健保の役職員に必要な知識、スキル、モラル向上のための研修等
- ③ 公的医療保険の制度上または運営上の改善、改革を要請する活動等
- ④ 保険者機能を効果的、効率的に発揮するための会員健保組合間並びに関係団体等を含めた連携および共同事業の推進
- ⑤ その他、定款に定める目的を達成するために必要な事業

4. 会員の状況

種 類	2023年3月末	2022年3月末	増 減
正 会 員	109組合	106組合	3組合増
準 会 員	1団体	1団体	増減なし

5. 事務所の状況

主たる事務所：東京都千代田区神田北乗物町 11 番地 乗物町第一ビル4階

電話番号 03-5577-5411 FAX 03-5577-5413

E-mail hokensha@kino-suishin.org

ホームページ <https://www.kino-suishin.org/>

6. 役員等に関する事項（2023年3月31日現在）

役 職	氏 名	常勤・非常勤の別	現 職
代表理事会長	秋 山 実	非常勤	日 本 航 空 健 康 保 険 組 合 理事長
代表理事副会長	鳥 潟 美 夏 子	非常勤	日 本 マ ク ト ナ ル ト 健 康 保 険 組 合 常務理事
理事副会長	木村(沼越)園子	非常勤	日 本 ヒ ュ レ ッ ト ・ ハ ッ カ ー ト 健 康 保 険 組 合 常務理事
理事副会長	小 宗 邦 彦	非常勤	M S D 健 康 保 険 組 合 常務理事
理事副会長	篠 原 正 泰	非常勤	富 士 フ ィ ル ム グ ル ー プ 健 康 保 険 組 合 常務理事
理事副会長	藤 代 勉	非常勤	三 菱 健 康 保 険 組 合 理事長
理 事	飯 島 一 彦	非常勤	鷺 宮 健 康 保 険 組 合 常務理事
理 事	井 坂 徳 雄	非常勤	C & R グ ル ー プ 健 康 保 険 組 合 常務理事
理 事	内 田 好 宣	非常勤	日 立 健 康 保 険 組 合 常務理事
理 事	小 川 佳 政	非常勤	フ ァ イ ザ ー 健 康 保 険 組 合 常務理事
理 事	北 川 豊	非常勤	パ ナ ソ ニ ッ ク 健 康 保 険 組 合 常務理事
理 事	宮 川 昌 佳	非常勤	東 京 海 上 日 動 健 康 保 険 組 合 常務理事
理 事	若 林 国 弘	非常勤	三 菱 電 機 健 康 保 険 組 合 常務理事
監 事	大 貫 益 枝	非常勤	三 越 伊 勢 丹 健 康 保 険 組 合 常務理事
監 事	松 本 尚 三	非常勤	太 陽 生 命 健 康 保 険 組 合 常務理事

(注1) 2022年度中に就任した理事及び監事

2022年6月23日開催の第24回定時社員総会において、新たに馬場昭彦氏が
理事に、松本尚三氏が監事にそれぞれ就任しました。また、2023年3月30日開催
の第25回定時社員総会において、新たに小宗邦彦氏が理事副会長に、飯島一彦氏、
小川佳政氏、宮川昌佳氏、若林国弘氏が理事にそれぞれ就任しました。

(注2)2022年度中に退任した理事及び監事

退任日	氏名	退任時の役職
2022年6月23日	青山尚弘	代表理事副会長 リクルート健康保険組合
2022年6月23日	中村喜幸	理事 博報堂健康保険組合 常務理事
2022年6月23日	尾高恵吾	監事 ニコン健康保険組合 常務理事
2022年12月31日	播磨俊郎	理事副会長 野村證券健康保険組合
2022年12月31日	小宗邦彦	理事 BIJ健康保険組合 常務理事
2023年3月30日	岡良廣	理事 資生堂健康保険組合 常務理事
2023年3月30日	小林晋	理事 麒麟ビール健康保険組合 常務理事
2023年3月30日	新谷元司	理事 SGホールディングスグループ健康保険組合 理事長付
2023年3月30日	馬場昭彦	理事 リクルート健康保険組合 常務理事

(注3)特別顧問の委嘱

理事会の議決を得て委嘱された特別顧問が在任中です。

- 特別顧問 武田節夫（初代事務局長）
- 特別顧問 徳永一夫（第5代会長）
- 特別顧問 小玉道雄（第6代会長）
- 特別顧問 飯住宗広（第7代会長）

7. 職員に関する事項

職員数	職種	勤続年数
1名	事務局長	8年

Ⅱ 事業の状況

1. 事業の実施状況

(1) 事業の概況

2022年度も新型コロナウイルス感染症(以下、「コロナ感染症」)の影響を大きく受ける一年となりました。社会は少しずつコロナ感染症と併存するような形で、人やモノの動きを増やしていますが、沈静化しても再びピークが訪れることが重なる中では、引き続き感染への警戒心も根強くあり、働き方の変容と個々人の意識の変革も加わり、なかなかコロナ感染症より前の社会には戻りきれない状況にありました。

こういった状況下でWebによる活動の環境整備を進め研究会活動などを行いました。11月の保険者機能推進全国大会では、開催方式を更にすすめて、会場参加とWeb参加の両方を行うハイブリッドによる開催を行い、円滑に大会を開催することができました。以後、社員総会などでもハイブリッドでの開催を行い、会の運営を充実したものとすることが出来ています。

(2) 会員数の動向

2022年度末の正会員は、前年度末106健保組合であったのに対して、年度中に4健保組合が加入し、年度末に1健保組合が退会した結果、差し引きで109健保組合になりました。準会員は1団体で増減はありませんでした。

(3) 財務状況

2022年度の正味財産合計は、前年度から2,137,857円増加し、17,042,090円となりました。正味財産のうち、現金預金は前年度から2,332,887円増加し、16,147,080円となりました。

経常収益は、前年度から3,347,035円増加し、15,780,274円となりました。

経常費用は、前年度から2,398,169円増加し、13,572,417円となりました。事業活動費は、全国大会をハイブリッドで開催するなどにより、前年度から2,541,079円増加し、合計3,277,727円となりました。管理費は、前年度から142,910円減少し、合計10,294,690円となりました。Web環境の充実化などにより、システム管理費、システム改善費、レンタル費が増えましたが、一方で業務委託費、通信運搬費等が大幅に減少したことによります。

正味財産期末残高17,042,090円は、会費収入の108.2%、現金預金の期末残高は同じく会費収入の102.5%に相当します。正味財産期末残高は、コロナ禍により推進する会の事業活動が大きく制限されたことにより増加していますが、2023年度以降、コロナ禍以前の活動状況に戻ってくるに従い、費用は増えていくと想定されていますので、慎重に財務状況を注視してまいります。

(4) 研究会活動

2022年度は、レセプト・健診データ分析研究会、健診事業のあり方研究会、特定保健指導応用研究会、女性の健康研究会、シニアの健康研究会、たばこ対策研究会、療養費適正化研究会、扶養認定基準研究会の8研究会が設置されました。Web中心の活動でしたが、一部の研究会ではハイブリッドでの開催にも取り組みました。

◎レセプト・健診データ分析研究会

2022年度研究会では2015&2020年度および2016&2021年度の特定健診結果をもとに5年連続加入者のリスク変化を見える化する従来からの『独自健康分布図』や新たに『2019-2021リスクの詳細比較ツール』を作成し分析する「全体テーマ」などを実施。参加他健保との比較を通じて自健保の課題抽出をおこないました。また、個々のメンバーが関心を持つテーマについて深掘り研究をおこなう「グループワーク(以下 GW)活動」は、『健診問診分析』『若年者分析』『特保効果分析』『レセプト分析』をテーマに4グループで実施。(年度末には成果報告会も実施)。研究会の開催方法は原則 Teams での遠隔実施となりましたが、GW では活発な意見交換が行われました。年間を通じて、東京大学政策ビジョン研究センターの古井祐司先生および井出博生先生などの先生方からデータヘルスの動向などのレクチャーや GW についての指導もいただきました。

◎健診事業のあり方研究会

健診項目、受診勧奨、事後フォロー等のあり方について、あるべき姿を追求し、各健保の今後の取組みに寄与することを目的としている研究会です。2022年度は前年度に引き続き“がん検診の精度管理向上”のため精度管理マップを作成しました。各健保が精度管理をさらに一歩進めるために、先行している健保からの事例共有、各健保の課題や悩み事を解決するために、小グループでの議論を行いました。また、国立がん研究センターの高橋先生にご登壇いただき最新の知見を共有いただき参加者の知識向上もはかりました。

◎特定保健指導応用研究会

コロナ禍が長引く中で、Web開催する最大のメリットである「情報共有」をメインに活動しました。年度初めのアンケートから、毎年、当研究会に参加する方々の一番の関心事である「他健保の事例紹介」を軸に毎月必ず研究会を開催し、これまでの接点が切れないよう努めました。具体的な活動成果としては、研究会毎月開催12回、事例紹介17健保、ミニグループ会議3回、アンケート2回、外部業者講演3社、日本保健指導協会1回、田口敦子先生(慶応大教授)講演1回を行いました。各回の様子は公開制限付き Youtube にて共有し、欠席者のフォローにも配慮しました。Web中心ではありましたが“情報収集”、“第4期特定健診・保健指導の方向性の理解向上”、“他健保の参加者とのつながり”が充足される活動を継続できました。

◎女性の健康研究会

2022年度は、Web開催にて、全9回を開催いたしました。31健保・35名の方にご参加いただき、女性の健康に関する様々な課題とそれに係る健保の抱える課題に応えるべく、以下のような取り組みを行いました。

- ・参加健保の現状を把握するための調査票の実施
- ・女性の健康を推進する担当者の知識向上に向けて、アドバイザーの対馬先生によるご講演
- ・リテラシー向上に向けて、国立成育医療研究センター荒田尚子先生のご講演
- ・女性の健康課題に関する先進的な取り組みとして Femtech 事業者による情報提供
- ・成功事例から学ぶ、先行して取り組んでいる健保の事例共有

◎シニアの健康研究会

高齢者医療制度や納付金、支援金、に関する学びの継続と東京大学政策ビジョン研究センターの井出博生先生による「データヘルス・ポータルサイトから見た健保組合のデータヘルス計画」のお話、更には墨田区福祉保健部保健衛生ご担当者様から「墨田区の健康づくりの取組」～シニア層を踏まえた健康づくり～をテーマにご講演をいただき、各回とも活発な意見交換がなされました。シニア層向け健康情報紙「健康かわら版」の共同発行と健診未受診被扶養者に対する「生活問診アンケート」と「ライフスタイルアドバイスシート」の提供事業も引き続き実施いたしました。2023年度は既存事業の他に新たなテーマにも挑戦してまいります。

◎たばこ対策研究会

職場のたばこ(喫煙)対策の推進を通して「能動喫煙・受動喫煙による健康被害の防止を図ること」「医療費の適正化を図ること」を目的に活動しています。2022年度研究会では、たばこ対策に関する基礎情報をまとめた『たばこ対策コンテンツ集のアップデート』およびコロナ禍に於ける『喫煙者の働き方の変化と喫煙状況の変化の関連性分析』を中心に活動しました。分析結果については、参加健保での活用のみならず、日本禁煙科学会の学術総会ならびに保険者機能を推進する会全国大会でも発表を行い、社会貢献への寄与も行いました。

◎療養費適正化研究会

2022年度も研究会としては継続的に大きく掲げている『療養費の適切な利用』に向けて、メンバー個々の審査・点検のスキルアップを図るための事例交換や外部有識者を呼んでの講演などを行いました。中でも柔整点検会社からの「療養費支給申請書のチェックポイント」、日本臨床整形外科学会の松本先生からの、「整形外科医から見た柔道整復施術とは」等は実務担当者にとっても大変勉強になる話題であったと思います。今後も社会保険制度の課題等についての講演は続けていきたいと考えますし、相談事例の多い治療用装具についても健保連を始め関係者と継続的な勉強会を実施しています。また、健保加入員への適正受療のための教育・啓発用ツールとしてのリーフレットを作成する活動を行いました。

◎扶養認定基準研究会

2022年度は新型コロナ流行下でしたがハイブリッド開催を多く実施し、研究テーマ「中間サーバーを活用した検認業務」を中心に活動いたしました。特に大手基幹システムベンダー2社にて開発された中間サーバーを利用した前捌きについては、各ベンダーからの説明会を実施。開発途中の1社については、同社の開発部門との実装機能について意見交換会をいたしました。健保連との相互協力では、健保連が作成した情報連携活用マニュアルについて担当者目線での提案を行い、健保連からは、通知の解釈として「育児休業法の改正」「短時間就労者の適用拡大」「公金口座活用」について研究会加入健保なら誰でも参加可能な説明会を実施いたしました。2023年度は対面を基本としたハイブリッド形式で開催し成果発表が出来る活動を行います。

(5)第10回保険者機能推進全国大会

「本格化する少子高齢化社会において果たすべき保険者機能とは？」をテーマに、2022年11月24日に10回目となる保険者機能推進全国大会をハイブリッド開催しました。このテーマを取り上げるにあたり「健康経営の展開 ～保険者機能の向上と戦略～」という演題にて社会政策課題研究所 所長 江崎 禎英先生より基調講演をいただきました。後半には、シニアの健康研究会、たばこ対策研究会がそれぞれ成果発表を行いました。

(6)医療保険制度ゼミナール

医療保険制度ゼミナールは、本会の基本機能である「保険者機能を推進する」を念頭に置いて、厚労省・保険者・アカデミア・医療提供・患者・メディア等、医療保険制度を取り巻くステークホルダーに講義をお願いし、それを通じてバランス感を持って発信ができる保険者を育てることを目的としています。本年度も新型コロナの影響を受け、Web開催としたうえで、以下の方々に講演をお願いし、また演者と参加者との討議にも力点を置いた活動といたしました。

開催日	開催内容	会場
第29回 6月8日	不妊治療の真実を語る 講師：黒田インターナショナル メディカル リプロダクション 院長 黒田 優佳子 氏	Web開催
第30回 10月26日	医療体制の病巣～コロナで浮き彫りになったこと～ 講師：日本経済新聞社 編集委員 兼 論説委員 柳瀬和央 氏	Web開催
第31回 3月7日	支払基金改革の動向 講師：社会保険診療報酬支払基金 理事長特任補佐 須田俊孝 氏	Web開催

(7)基礎知識研修会

2022年度の基礎知識研修会は健保内組織運営の観点から事務長回を2回、コラボヘルスをテーマに一般職員回を1回開催いたしました。また長らく途絶えがちであった健保間の横のつながりを築けるよう小グループにおける意見交換の場をセットして開催いたしました。

開催日	開催内容	会場
第1回 5月25日	事務長ネットワークの会 ① 職員の育成・ローテーション、事務長の職務範囲について ② 自健保のケース <グループディスカッション>	Web開催
第2回 9月22日	通常会 ① 事例発表:博報堂健康保険組合 保健事業の捉え方と加入者、事業主へのアプローチ ② 事業主へのアプローチ<グループディスカッション>	Web開催
第3回 12月19日	事務長ネットワークの会 ① 事務長の役割と職責 ② 事務長として何をすべきか? <グループディスカッション>	Web開催

(8) 常務理事ゼミナール

常務理事ゼミナールは、例年担当役員と幹事がファシリテートする形で参加者が自由な意見交換を行い、情報共有や意見交換をする自主勉強会として、原則として毎月1回、2時間枠で開催してきました。2022年度はコロナ禍により引き続きWebでの開催となりましたが、5月、8月、10月、12月の4回開催し意見交換等を行いました。

開催日	開催テーマ	会場
第1回 5月18日	保険者マネジメント（ベンダーマネジメント） ①ベンダー選定のポイント、ベンダーに求めるもの ②ベンダー評価と見直しのポイント	Web開催
第2回 8月24日	コラボヘルスの実践（健康経営顕彰制度） ①健康経営優良法人、健康宣言事業における事業主との協業について ②「女性の健康保持・増進」「メンタルヘルス対策」への健保の取組みと事業主との協業	Web開催
第3回 10月19日	データヘルスの実践 データヘルス計画実践における課題と今後の取り組み	Web開催
第4回 12月21日	保険者マネジメント 医療保険改革の状況	Web開催

(9) その他のシンポジウム、研修会、発表会、など

開催日	行事名	会場
6月23日	2021年度研究会活動報告会	Web開催
3月30日	2023年度研究会活動計画発表会	星陵会館 2階ホール

2. 役員会等に関する事項

開催日	会議名	会場
4月19日	4月正副会長会議	Web開催
4月22日	2022年度第1回(4月)定例理事会 <決議事項> ・第29回医療保険制度ゼミナール開催の件 ・研究会への学識経験者・外部事業者継続参加の件 ・2022年度第2回(6月)定例理事会開催の件	Web開催
5月16日	5月正副会長会議	Web開催
6月 1日	6月正副会長会議	Web開催
6月 6日	2022年度第2回(6月)定例理事会 <決議事項> ・第24回定時社員総会招集通知の件 ・2021年度事業報告の件 ・第24回定時社員総会第1号議案(第12期(2021年度)計算書類の件)の件 ・第24回定時社員総会第2号議案(理事14名、役付理事6名、代表理事2名選任の件)の件 ・第24回定時社員総会第3号議案(監事2名選任の件)の件 ・研究会への学識経験者・外部事業者参加の件 ・DIC健康保険組合入会の件 ・2022年度第2回基礎知識研修会の開催の件 ・第30回医療保険制度ゼミナール開催の件 ・2022年度第3回(9月)定例理事会開催の件	Web開催
6月23日	第24回定時社員総会 <報告事項> ・第12期(2021年度)事業報告の件 ・監事の監査結果報告の件 <決議事項> ・第12期(2021年度)計算書類の件 ・理事14名、役付理事6名、代表理事2名選任の件 ・監事2名選任の件	TKP 神田駅前 ビジネスセンター
7月11日	7月正副会長会議	本会事務所
8月 8日	8月正副会長会議	Web開催
9月 7日	9月正副会長会議	Web開催
9月12日	2022年度第3回(9月)定例理事会 <決議事項> ・たばこ対策研究会オブザーバー参加の件 ・第10回保険者機能推進全国大会発表研究会決定の件 ・第30回医療保険制度ゼミナール開催日程変更の件 ・2022年度第3回基礎知識研修会の開催の件 ・「自治体・企画・薬局における女性の健康支援に関する好事例調査」への協力の依頼についての件 ・2022年度第4回(11月)定例理事会開催の件	Web開催
10月11日	10月正副会長会議	本会事務所

開催日	会議名	会場
11月 9日	11月正副会長会議	本会事務所
11月14日	2022年度第4回(11月)定例理事会 <決議事項> ・2022年度中間決算承認の件 ・第25回定時者移送会および研究会活動計画発表会の件 ・第11回保険者機能推進全国大会開催の件 ・事業企画委員会についての件 ・2022年度第5回(1月)定例理事会開催の件	Web開催
12月12日	12月正副会長会議	本会事務所
1月11日	1月正副会長会議	Web開催
1月16日	2022年度第5回(1月)定例理事会 <決議事項> ・第31回医療保険制度ゼミナールの開催の件 ・2022年度第4回基礎知識研修会の開催の件 ・2023年度 事業方針の件 ・2023年度 研究会活動及び2023年度設置研究会の件 ・2023年度 医療保険制度ゼミナールの件 ・2023年度 基礎知識研修会の件 ・2023年度 常務理事ゼミナールの件 ・第11回保険者機能推進全国大会開催方針の件 ・2023年度 事業企画委員会の件 ・2023年度 予算案の件 ・2023年度 事務所休業期間の件 ・2022年度第6回(3月)定例理事会開催の件	Web開催
2月13日	2月正副会長会議	本会事務所
3月 3日	3月正副会長会議	本会事務所
3月13日	2022年度第6回(3月)定例理事会 <決議事項> ・第25回定時社員総会議案 第1号議案(2023年度事業計画案の件)の件 第2号議案(2023年度収支予算案の件)の件 第3号議案(理事補充選任の件)の件 第4号議案(副会長補充選任の件)の件 ・第26回、および第27回定時社員総会開催の件 ・2023年度 第1回基礎知識研修会の開催の件 ・2023年度第1回(4月)定例理事会開催の件	Web開催
3月30日	第25回定時社員総会 <決議事項> ・2023年度事業計画案承認の件 ・2023年度収支予算案承認の件 ・理事補充選任の件 ・副会長補充選任の件	星陵会館 2階ホール

3. 重要な契約に関する事項

契 約 先	契 約 内 容	契 約 金 額	契 約 期 間
大竹リース株式会社	事務所賃貸借契約	月額 237,500 円	2019.10.01 から 2023.03.31 まで
リコーリース株式会社	カラー複合機リース契約	月額 16,200 円	2018.02.01 から 2022.07.31 まで
	カラー複合機リース契約	月額 15,700 円	2022.08.01 から 2027.07.31 まで
	電話機リース契約	月額 5,200 円	2020.10.01 から 2026.09.30 まで
	フォーティゲート契約	月額 9,800 円	2020.02.01 から 2025.01.31 まで
	LAN フォルダ契約	月額 6,500 円	2022.02.01 から 2027.01.31 まで
リコージャパン株式会社	BBパック契約	月額 2,800 円	使用開始日 2023.03.31 まで
	リコーひかり契約	月額 500 円	2016.08.01 から 2023.03.31 まで
	Microsoft365	月額 900 円	2023.03.17 から 2024.03.16 まで
株式会社法研	業務委託基本契約書覚書	-	2015.10.01 から 2023.03.31 まで
	レンタルサーバ・サービス 契約	年額 500,000 円	2020.04.01 から 2023.03.31 まで
	ウェブサイト保守契約	年額 240,000 円	2017.04.01 から 2023.03.31 まで
	メールサーバ・サービス契約	年額 16,000 円	2019.04.01 から 2023.03.31 まで
株式会社大塚商会	どこでもキャビネット	月額 20,000 円	2018.07.01 から 2023.03.31 まで
ソフトバンク株式会社	Zoom ミーティング* (プロ) 7 契約	月額 17,360 円	2020.11.01 から 2023.10.31 まで
	大規模ミーティング 500(オプション)	月額 5,980 円	2021.06.01 から 2023.05.31 まで
	iPad リース 5 台	月額 30,250 円	2020.11.01 から 2022.10.31 まで
	iPad リース 5 台	月額 25,120 円	2022.11.01 から 2023.10.31 まで
	ウェビナー500	月額 9,800 円	2022.06.01 から 2023.05.31 まで

注) 契約金額には消費税を含んでおりません。

4. 財産状態及び正味財産増減の状況並びに収支の推移

(単位:千円)

区 分	第9期 2018年度	第10期 2019年度	第11期 2020年度	第12期 2021年度	第13期 2022年度
資産合計	7,258	9,312	13,825	15,014	17,347
負債合計	161	161	110	110	305
正味財産合計	7,097	9,151	13,715	14,904	17,042
経常収益計	17,689	19,054	15,690	12,433	15,780
経常費用計	17,666	16,929	11,057	11,174	13,572
当期一般正味財産増減額	△47	2,055	4,564	1,189	2,138
前期繰越収支差額	5,270	5,560	7,951	12,515	13,704
事業活動収入計	17,689	19,054	15,690	12,433	15,780
事業活動支出計	17,329	16,592	11,057	11,174	13,572
当期収支差額	290	2,392	4,564	1,189	2,138
次期繰越収支差額	5,560	7,951	12,515	13,704	15,842

Ⅲ 決算期後に生じた本会の状況に関する重要な事実

特にありません。

2022年度
計 算 書 類

自 2022年 4月 1日
至 2023年 3月31日

一般社団法人 保険者機能を推進する会

貸借対照表

2023年3月31日現在

(単位:円)

科 目	2022年度	2021年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	16,147,080	13,814,193	2,332,887
流動資産合計	16,147,080	13,814,193	2,332,887
2. 固定資産			
無形固定資産			
ソフトウェア	0	0	0
その他投資等			
事務所保証金	1,200,000	1,200,000	0
固定資産合計	1,200,000	1,200,000	0
資産合計	17,347,080	15,014,193	2,332,887
II 負債の部			
流動負債			
未払金	195,030	0	195,030
未払法人税等	70,000	70,000	0
預り金	39,960	39,960	0
流動負債合計	304,990	109,960	195,030
負債合計	304,990	109,960	195,030
III 正味財産の部			
一般正味財産			
正味財産合計	17,042,090	14,904,233	2,137,857
負債及び正味財産合計	17,347,080	15,014,193	2,332,887

正味財産増減計算書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

(単位:円)

科 目	2022年度	2021年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
事業収益			
受取会費	15,744,000	12,418,000	3,326,000
受取一般事業収入	36,000	15,000	21,000
受取雑収入	274	239	35
事業収益計	15,780,274	12,433,239	3,347,035
経常収益計	15,780,274	12,433,239	3,347,035
(2) 経常費用			
事業活動費			
総会費	1,151,720	0	1,151,720
事業費	2,126,007	736,648	1,389,359
事業活動費計	3,277,727	736,648	2,541,079
管理費			
業務委託費	3,589,371	4,076,450	△ 487,079
システム管理費	1,601,644	1,490,390	111,254
システム改善費	113,300	0	113,300
会議費	0	0	0
交通費	3,268	1,824	1,444
通信運搬費	166,941	253,756	△ 86,815
事務費	356,106	258,632	97,474
印刷費	85,266	65,155	20,111
水道光熱費	343,700	348,500	△ 4,800
レンタル費	750,066	692,235	57,831
事務所家賃	3,135,000	3,135,000	0
減価償却費	0	0	0
租税公課	42,850	31,800	11,050
雑費	107,178	83,858	23,320
管理費計	10,294,690	10,437,600	△ 142,910
経常費用計	13,572,417	11,174,248	2,398,169
当期経常増減額	2,207,857	1,258,991	948,866
税引前当期一般正味財産増減額	2,207,857	1,258,991	
法人税等	70,000	70,000	
当期一般正味財産増減額	2,137,857	1,188,991	948,866
一般正味財産期首残高	14,904,233	13,715,242	1,188,991
一般正味財産期末残高	17,042,090	14,904,233	2,137,857
II 正味財産期末残高	17,042,090	14,904,233	2,137,857

正味財産増減計算書は企業会計における「損益計算書」に相当する。

財 産 目 録

2023年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産) 現金預金	現金	手元保管	運転資金として	37,070	
	預金	三菱UFJ銀行神田駅前支店 普通預金 定期預金	運転資金として 10,110,010 6,000,000	16,110,010	
流動資産合計				16,147,080	
(固定資産)	無形固定資産	ソフトウェア	㈱法研への外注で作成したHP	ソフトウェア取得価額	1,684,800
				減価償却額累計	△ 1,684,800
			当期減価償却額	0	
			当期末残高	0	
その他固定資産	事務所保証金	大竹リース㈱に対するもの	保険者機能を推進する会の事務所(東京都千代田区神田北乗物町11番地 乗物町第一ビル4階)賃借保証金として	1,200,000	
固定資産合計				1,200,000	
資産合計				17,347,080	
(流動負債)	未払金	リコージャパン㈱に対するもの	パソコン購入費用	195,030	
	未払法人税等	千代田都税事務所に対するもの	法人住民税均等割	70,000	
	預り金	神田税務署に対するもの	事務局の源泉徴収税分	39,960	
流動負債合計				304,990	
負債合計				304,990	
正味財産				17,042,090	

財務諸表に関する注記

1. 重要な会計方針

(1)リース取引

リース契約 1件当たりのリース料総額が 300万円以下のリース取引については、通常の賃貸借取引に準じた会計処理によっている。

(2)消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理については、税込経理方式によっている。

(3)ソフトウェアの減価償却

ソフトウェアは5年均等償却としている。

2. 会計方針の変更

該当なし。

3. 関連当事者との取引の内容

該当なし。

4. 重要な後発事象

該当なし。

収支計算書

2022年4月1日から2023年3月31日まで

(単位:円)

科 目	2022年度 決 算 額	2022年度 予 算 額	差 異	2021年度 決 算 額	備 考
I 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
(1) 会費収入	15,744,000	15,850,000	△ 106,000	12,418,000	
(2) 一般事業収入			0		
臨時会費(総会)	0	480,000	△ 480,000	0	
臨時会費(事業)	36,000	600,000	△ 564,000	15,000	
(3) 雑収入	274		274	239	
事業活動収入計	15,780,274	16,930,000	△ 1,149,726	12,433,239	
2. 事業活動支出					
(1) 一般事業費支出					
総会費支出	1,151,720	2,400,000	△ 1,248,280	0	
事業費支出	2,126,007	3,900,000	△ 1,773,993	736,648	830,629円を管理費より振替
一般事業費支出計	3,277,727	6,300,000	△ 3,022,273	736,648	
(2) 管理費支出					
業務委託費	3,589,371	5,460,000	△ 1,870,629	4,076,450	830,629円を事業費へ振替
システム管理費支出	1,601,644	1,700,000	△ 98,356	1,490,390	
システム改善費支出	113,300	170,000	△ 56,700	0	
会議費支出	0	100,000	△ 100,000	0	
交通費支出	3,268	20,000	△ 16,732	1,824	
通信運搬費支出	166,941	300,000	△ 133,059	253,756	
事務費支出	356,106	300,000	56,106	258,632	195,030円未払計上
印刷費支出	85,266	120,000	△ 34,734	65,155	
水道光熱費支出	343,700	384,000	△ 40,300	348,500	
レンタル費支出	750,066	700,000	50,066	692,235	
事務所家賃支出	3,135,000	3,135,000	0	3,135,000	
租税公課支出	42,850	50,000	△ 7,150	31,800	
雑費支出	107,178	110,000	△ 2,822	83,858	
管理費支出計	10,294,690	12,549,000	△ 2,254,310	10,437,600	
事業活動支出計	13,572,417	18,849,000	△ 5,276,583	11,174,248	
事業活動収支差額	2,207,857	△ 1,919,000	△ 4,126,857	1,258,991	
II 予備費支出	0	1,000,000	△ 1,000,000	0	
III 法人税等支出	70,000	70,000	0	70,000	70,000円未払計上
当期収支差額	2,137,857	△ 2,989,000	△ 5,126,857	1,188,991	
前期繰越収支差額	13,704,233	13,704,233	0	12,515,242	
次期繰越収支差額	15,842,090	10,715,233	△ 5,126,857	13,704,233	

収支計算書に関する注記

1. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	当期末残高	前期末残高	差 異
現金預金	16,147,080	13,814,193	2,332,887
合 計	16,147,080	13,814,193	2,332,887
未払金	195,030		195,030
未払法人税等	70,000	70,000	0
預り金	39,960	39,960	0
合 計	304,990	109,960	195,030
次期繰越収支差額	15,842,090	13,704,233	2,137,857

2. 科目間の流用及び予備費の使用

(1) 科目間の流用

(単位：円)

科 目	予 算 額	科目間流用額	流用後予算額	備 考
管理費－業務委託費	5,460,000	△ 106,172	5,353,828	事務費支出へ流用 56,106
				レンタル支出へ流用 50,066
管理費－事務費支出	300,000	56,106	356,106	業務委託費より流用 56,106
管理費－レンタル費支出	700,000	50,066	750,066	業務委託費より流用 50,066
差 引	6,460,000	0	6,460,000	

(2) 予備費の使用

該当なし。

監査報告書

2022年4月1日から2023年3月31日までの第13期事業年度における理事の職務の執行の状況、本会の業務並びに資産及び会計の状況を監査いたしました結果、次のとおり報告します。

1 監査の方法及びその内容

監事は、理事及び事務局と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会に出席して理事及び事務局から職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、正副会長会議資料などの重要な書類を閲覧し、業務及び財産の状況を調査し、当該事業年度に係る事業報告について検討した。

さらに、会計帳簿及びこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類等について検討した。

2 監査の結果

- (1) 事業報告は法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示しています。
- (2) 理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- (3) 計算書類等は、当法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に示しています。

2023年5月18日

一般社団法人保険者機能を推進する会

監 事 大 貫 益 恵